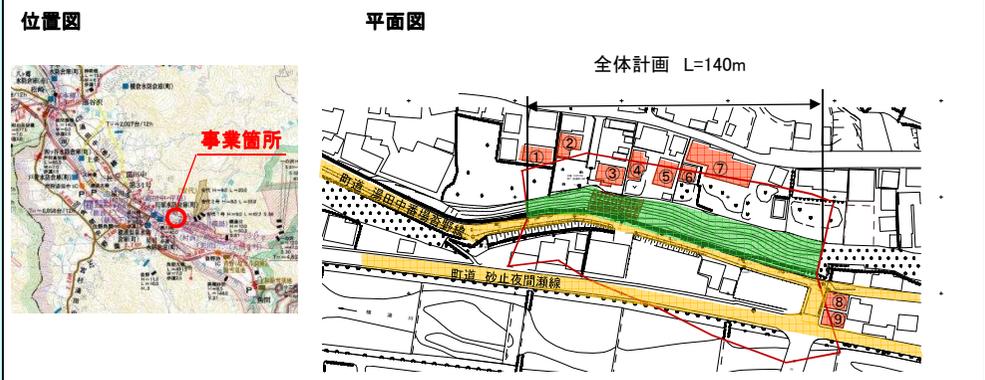


(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策等事業		路河川名等		(急) 洪	
事業毎の通番		1		市町村名		山ノ内町	
事業目的		当箇所は夜間瀬川右岸に位置し、勾配50°、最大高さ23mの急斜面で、保全対象として人家9戸、指定避難路である町道が2路線存在する。平成24年3月には斜面から巨石の落石があり、人的被害はなかったものの町道が通行止めとなった。落石箇所については、県単独事業により暫定的に法枠工を実施したが、斜面には不安定な浮石も見られ更なる崩落の危険性が高い。このため早急に対策を実施する必要がある。		箇所名(ふりがな)		安代(あんだい)	
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		急傾斜地法	
関連する事業、計画等							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		保全対象: 人家9戸、町道湯田中番場沓野線、町道砂止夜間瀬線					
着手年度		平成28年度		事業期間		4年間	
完成年度(見込み)		平成31年度		費用対効果		3.1	
全体事業内容(主な工種)		法面工 L=140m		事業費(千円)		150,000	
年度事業内容(主な工種)		・地質調査 1式 ・地形測量 1式 ・詳細設計 1式		費用対効果		10,000	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的)		施設整備による土砂災害特別警戒区域指定の解除			
		間接的効果(定量的・定性的)					
必要性		○人家戸数: 9戸 ○公共施設数: 2施設 ○要配慮者利用施設の有無: 無 ○避難場所、避難路の有無: 避難路有					評価
重要性		○過去の災害履歴: 10年以内に1回以上 ○交通遮断による地域経済への影響: 中 ○地域防災計画上の位置づけ: 有					評価
効率性		○費用便益比(B/C): 3.16 ○事業期間: 4年間 ○工法等の比較検討: 有					評価
緊急性		○斜面高さ: 平均高さ18m Hmax23m ○斜面平均勾配: 50° ○地質: 段丘堆積物 ○オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形: 無 ○植生: 普通 ○保全対象の位置: がけ上7戸、がけ下2戸					評価
計画熟度		○事業情報の共有: 関係者以外にも周知 ○地域の取り組み: 積極的な取り組みがある ○地域の合意形成: 合意形成が図られている ○住民との協働: 維持管理に住民参加が見込まれる					評価
部意見		保全対象に人家9戸、避難路2路線がある。斜面には不安定な浮石も見られ、H24.3には落石があり早期に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		勾配50°、高さ18mの急斜面が風化等により不安定な状況で、保全対象に人家、避難路となる町道が2路線あることから、重要性、緊急性が認められる。	
				評価結果		総合評価	
				○		A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	夜間瀬川右岸に位置し、勾配50°、最大高さ23mの急斜面で、保全対象として人家9戸、指定避難路である町道が2路線存在し、一部が土砂災害特別警戒区域内に入っている。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成24年3月には巨石の落石があり、平成24年8月安代坂安全協議会から要望あり。地権者から事業協力・事業地寄付の同意書が提出された。	
③事業説明等の経緯	平成22年1月土砂法説明会開催。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連		
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮について検討の予定。	
⑥地域活性化への影響と配慮	施設整備による特別警戒区域の解除により、緊急時の避難行動の安全性向上が期待される。	
⑦その他	事業代表地点の緯度経度	
		北緯:N 36° 44' 8"
		東経:E 138° 25' 37"